

6 - 5 弥彦地殻変動観測所における傾斜観測 (1967 - 1998) Tilt observation at Yahiko observatory(1967-1998)

東京大学地震研究所

Earthquake Research Institute, the University of Tokyo

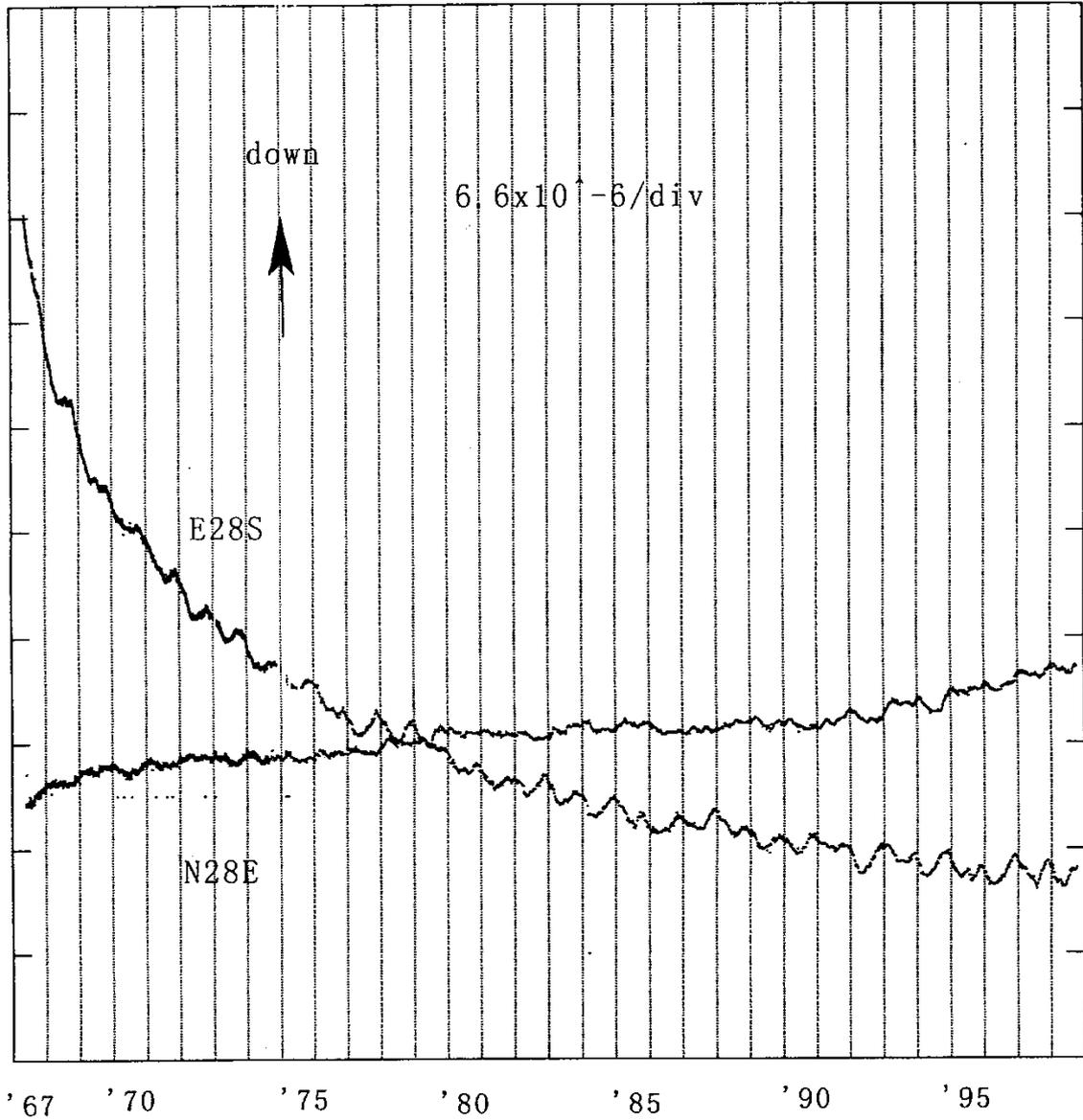
弥彦地殻変動観測所においては1967年から地殻変動の観測を行っている。今回は読み取り水管傾斜計による観測結果のみについて報告する。第1図は観測所の位置と観測壕の平面図を示している。観測点の位置は東北大学の震央分布図の上に重ねて星印でプロットしてある。第2図は観測された値のプロットである。1974年までは1日1回の読み取りであったがその後は1週間に1回となっている。観測値から傾斜下降ベクトル図としたのが3図である。1991-1992年頃から傾斜の方向が変化している。この変化の様子を見るために第4図と第5図は拡大した図である。この地域は複数の研究者から空白域として指摘されており(1), 注意深くデータを見ていく。

(石井 紘)

参 考 文 献

- 1) 石川有三, 1995, 新潟県北部の地震と地震空白域, 地球, 12, 784-788.

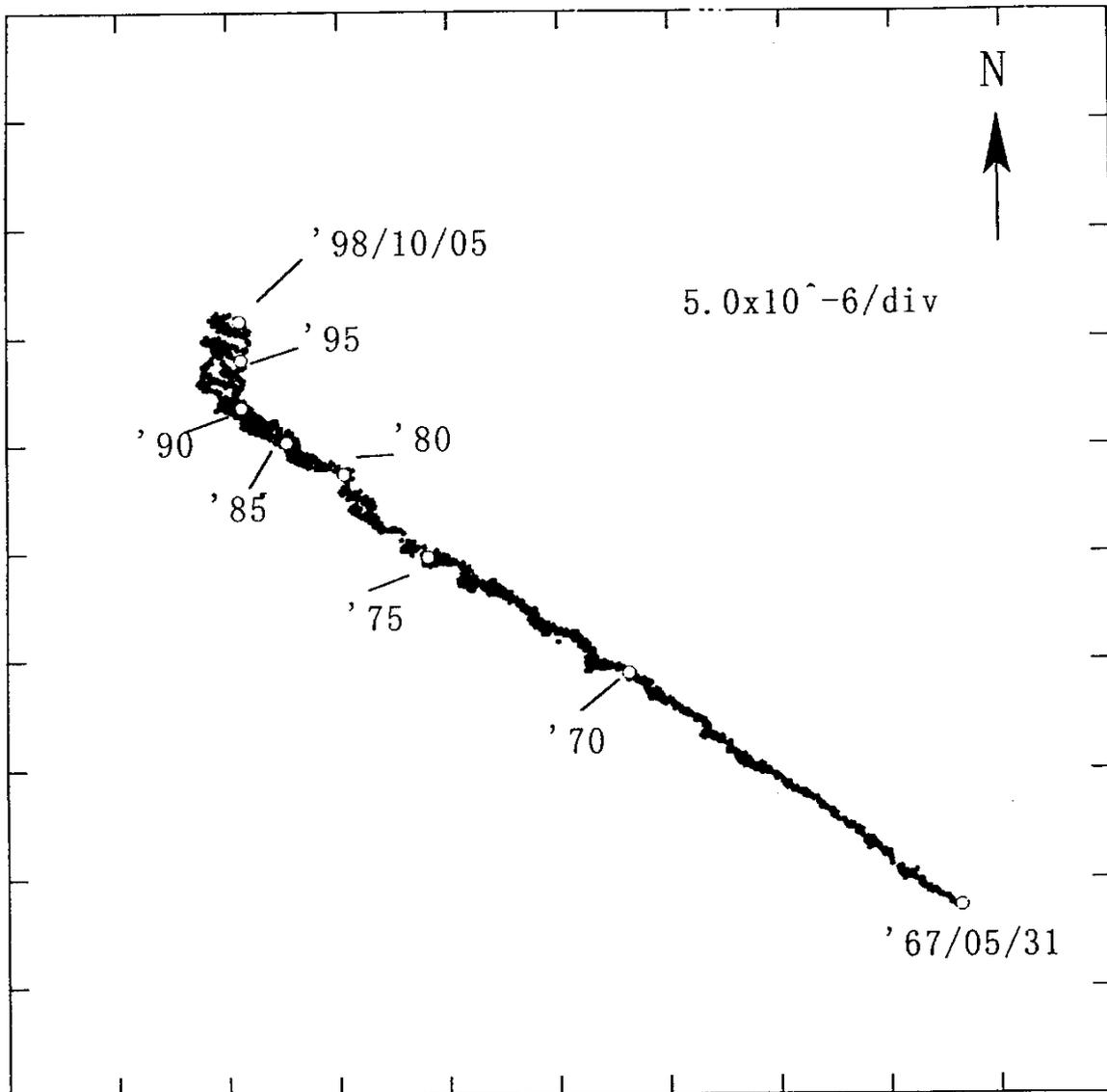
読み取り水管傾斜計 ('67-'98)



第2図 読み取り水管傾斜計による観測値のプロット (1967 - 1998)

Fig.2 Plot of observation data of reading type water tube tilt meter

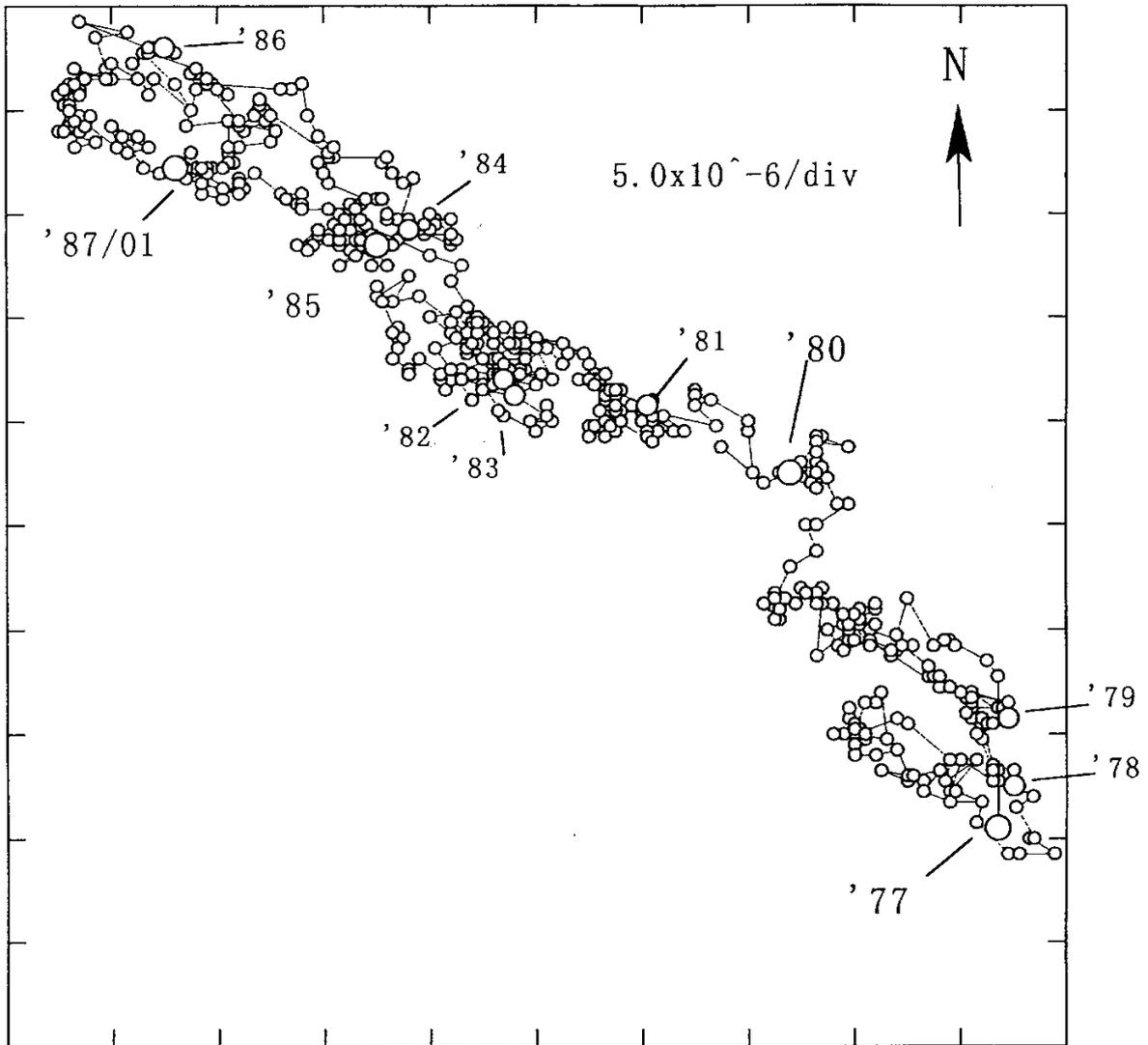
読み取り水管傾斜計下降ベクトル図('67/05/31-'98/10/05)



第3図 最大傾斜下降ベクトル図(1967-1987)

Fig.3 Vector diagram of maximum descending direction for the period of 1967 to 19

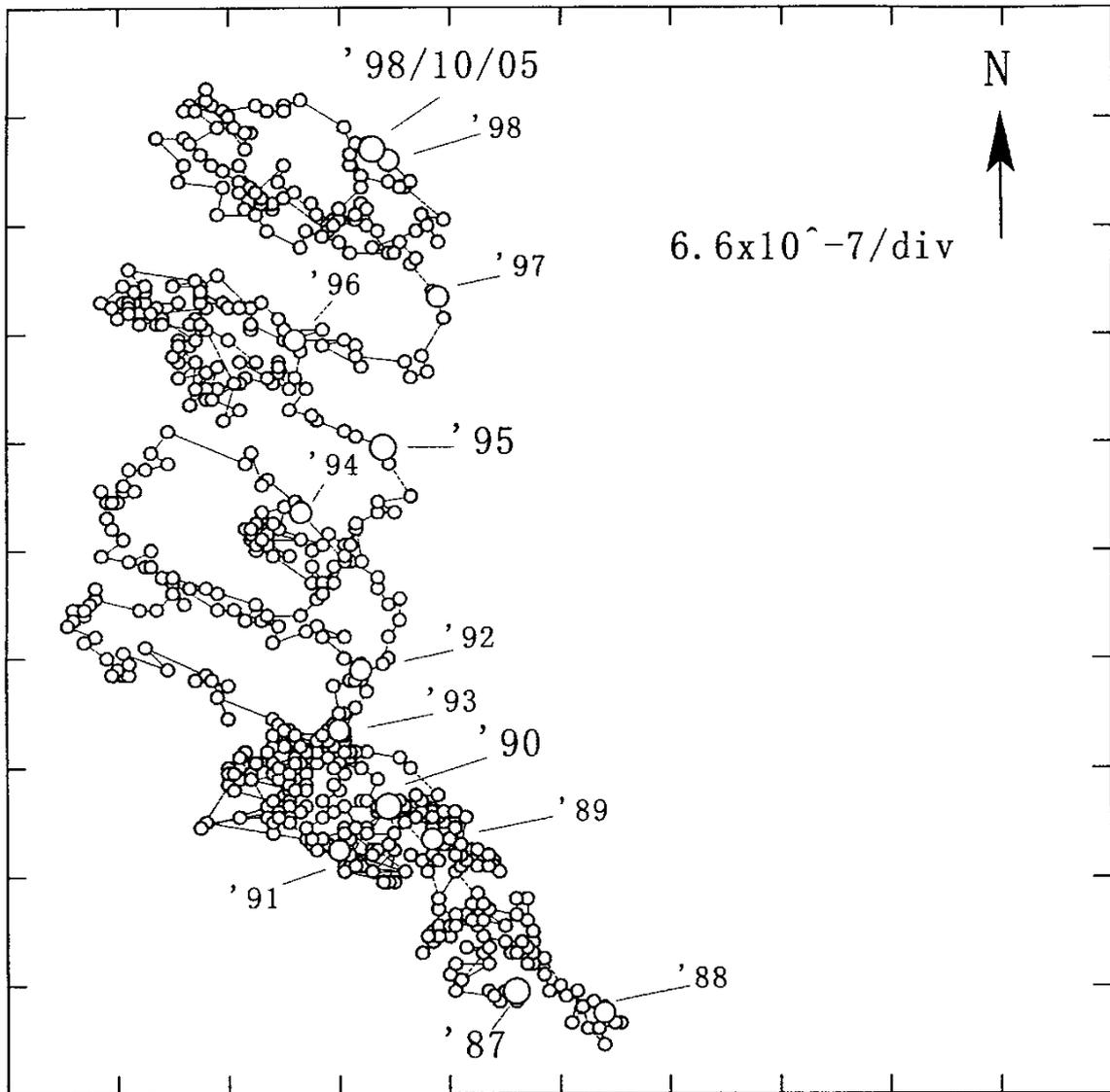
読み取り水管傾斜計下降ベクトル図('77/01-'87/01)



第4図 最大傾斜下降ベクトル図(1977-1987)

Fig.4 Vector diagram of maximum descending direction for the period of 1977 to 1987

読み取り水管傾斜計下降ベクトル図('77/01-'87/01)



第5図 最大傾斜下降ベクトル図(1987-1998)

Fig.5 Vector diagram of maximum descending direction for the period of 1987 to 1998